

# ケータリングカーオーナー支援

0からのスタート  
すべてサポートいたします。



ワーゲンビレッジ

# 新たな一歩が不安です

- 仕事を独立したいけど・・・
- これからの生活設計が不安・
- お店が持ちたい・・・
- 空いた時間に稼ぎたい・・・
- 新たな一歩に不安が前へ進めない・・・



そんな不安を支援いたします。

\* シングルマザーの方向けの支援もさせていただきます

# 弊社が出来ること

- ケータリングカーのすべてのサポートをさせていただきます。
- 車両のご紹介。
- ケータリングカーへの改装。
- 保険所への申請
- 販売食材のサポート。
- 販売場所のご紹介。
- 会社設立のサポート。



# 個人で動くところなことが・・・

- ・車両費が高くつく・・・  
弊社は業者オークションより車両を仕入れるために安価で済みます
- ・内装をどうしてよいのか？  
販売するものに合わせて、動きやすい内装を提案しながら製作いたします。
- ・保険所への許可の取り方が難しそう・・・  
保健所対応の内装を製作いたしますのでご安心ください  
もちろん弊社で代行もいたします(行政書士が行います)
- ・飲食の経験がありません・・・  
食材の提案、指導もさせていただきます。



# 販売場所がない！！

- ケータリングカーの運営がここが1番のポイントです！

毎年かなりのケータリングカーが始動し始めますが、販売場所が無く

泣く泣く廃業していく車両も少なくありません。

- 個人事業主だと、どうしても販売場所の契約の際にうまくことが進まない（LLC設立サポートもいたします） \*LLCとは？？ 別頁参照
- 弊社は関東を中心に多数の大型店舗と契約させていただいております。

# 弊社で車両製作での特権

- 弊社でケータリングカーを製作していただいた方には、出店場所での弊社手数料は  
いただいております(デベロッパー様等へのお支払いは発生する場合もございます)  
勿論、優先的の販売場所のご紹介をさせていただきます。

# 売上モデル計算表

- 例) 平日3日 土・日毎週出店での場合  
平日利用者1日10,000人  
休日利用者1日30,000人のショッピングモールモデルケース

購入者 入場者数の0.5%の計算  
客単価400~500円(クレープの例)  
平日 10,000人の0.5% 50人  
休日 30,000人の0.5% 150人

平日 50人x400円 20,000円  
休日 150人x400円 60,000円

(あくまでも、予想計算になります)

# 収支表

\* モデル計算表になります

	売上	支払	残	
平日売上x12日	240,000		240,000	
休日売上x8日	480,000		720,000	
材料費 3割		216,000	504,000	
出店料 10%		72,000	432,000	* 平均相場
その他 10%		72,000	360,000	1か月の利益

# 出店料で車を購入できる！

前頁の収支はあくまでもモデルケースです  
項目にある出店料10%はあくまで  
目安になりますが、通常ここに代理店手数料(弊社手数料 \* 5%前後が加算されます)  
モデルケースの売上表から算出すると  
月売上720,000円の5% = 36,000円の出費になりますが、弊社で車両を購入していただけたら、この分は他へ回すことができます  
(例えば車両購入費の支払い)  
そう考えても、弊社で車両を購入していただけたらと  
他社で車両を購入して、経費を考えると出費は抑えられると考えております。  
\* もちろんモデルケースでの計算表になります  
オーナ様の努力次第では、これ以上の収益を上げることも可能です。

# 車両購入での試算表

\* モデル試算表になります

車両購入費(改装費込)		1,000,000円	普通自動車
諸経費 * 購入費により前後あり		* 100,000円	
保健所申請手数料込		50,000円	
調理器財		α	
その他備品		α	

# \* LLCとは・・・

- 合同会社(LLC)とは、2006年5月の新会社法施行によって認められた、新しい会社の形態です。  
もともと、この合同会社(LLC)は欧米などにおいては株式会社に匹敵するほど活用されていた会社の形態で、日本においても有限会社の代わりとして登場しました。(逆に有限会社はもう作れなくなりました。)
- この、合同会社(LLC)の最大の特徴は、出資者の責任は有限責任で、意思決定方法や利益の配分が出資比率によらず自由に決められる点にあります。
- 出資した資金額に係わらず、知識やノウハウ・技術を提供した人は、資金を提供した人と同じ様に(或いはそれ以上に)リターンを受け取れる可能性があるのです。このように「人」が主体となっていることから、人的会社と言われます。
- 例えば、比較的少人数で、技術やノウハウを持ち寄って共同で事業を始める場合に、会社組織にはしたいけど、
- 株式会社のようにルールに縛られないで自由に会社運営をしたい
- 簡単な設立方法で、費用もあまりかからない
- という方には特にお勧めできる会社形態です。
- 最低資本金額の規制もなく(資本金1円～設立可能)、有限責任社員が1人以上いれば設立することができ、費用も安いことから人気の会社形態となっています。

次に株式会社と合同会社の違う点としては、設立にかかる費用実費が挙げられます。

合同会社は定款を作成しても、公証人による認証が不要であるため、総費用で安く設立することができます

	株式会社	合同会社
定款に貼る印紙代	4万円	4万円
公証人の手数料	52,000円	不要
登録免許税	15万円	6万円
合計	約24.2万円	10万円